

公共駐車場におけるサインデザイン（計画編）
—わかりやすく親しみやすい駐車場をめざして—

はじめに

昭和 63 年、筑波研究学園都市における都市交通の円滑化と都市交通機能の充実育成を図ることを目的に設立した当財団は、平面駐車場 10 か所、収容台数 2,160 台をもって運営管理がスタートしました。その後、研究学園都市内に初めて約 1,000 台収容の立体駐車場—現在の南 1 駐車場が建設されました。当時の案内サインの多くは明度が薄く、グレーに塗装された鋼鉄製の盤面に白地のサインが施され、また、躯体外側の柱は、当財団のシンボルカラーであるブルーと白を基調とし、場内の梁は階層毎に色分けされ、駐車位置の視覚性を高めるため、レインボーカラーとして配色されました。これらは矢萩喜徳郎氏のデザイン計画によるもので、建設当初には、駐車場全体の景観とサインデザインは中心地区に相応しいものと高く評価され、平成 3 年度に「公共の色彩賞」を受賞しました。

南 1 駐車場は開業後 25 年が経過し、施設自体の劣化が進行しつつあり、長寿命化の観点から柱梁等の清掃、塗装などメンテナンスを継続的に実施し、構造体の維持を中心に取組みできましたが抜本的な駐車場空間の改装までには至りませんでした。しかし、利用者のニーズとして、本来の駐車場機能である「安全で安心な駐車場づくり」「心地よい空間づくり」「情報発信基地機能化」などがより一層求められるようになってきました。

また、当財団が平成 18 年度に実施した自主研究である「少子高齢化社会におけるつくばでの自動車利用の変化と駐車場のあり方」調査での利用者アンケートの結果では、当該駐車場の評価において、「サイン情報の内容」や「サインの視認性」「場内の明るさ」などにおいて改善の要望が寄せられていました。

こうしたことを踏まえ、当財団は来街者をはじめ、隣接する商業施設利用者等の視点に立ち、駐車場におけるアメニティーを追求すべく、国内外の駐車場を調査し公共駐車場におけるサインデザインのあり方等について検討してきました。「計画編」では、これまで収集したサインデザインに関する国内外設置事例の整理、評価を行い、駐車場における快適な空間づくりのあり方についてまとめるとともに「実践編」では、実際に当財団が取り組んだ南 1 駐車場におけるサインデザインの実施事例をとりまとめることとしたものです。本報告書が皆様の参考になれば幸甚です。

平成 26 年 3 月
都市交通センター
理事長 伊藤 節 治

公共駐車場におけるサインデザイン（計画編）

－わかりやすく親しみやすい駐車場をめざして－

目次

第1章	駐車場サイン計画の必要性	1
	1-1 駐車場サイン計画にまつわる問題	1
	1-2 駐車場の特殊性	3
	1-3 駐車場に必要なサイン類	6
	1-4 駐車場に向けた新しいサインシステムの必要性	8
第2章	国内外の駐車場事例	9
	2-1 特色ある駐車場サインの実例	9
	2-2 国内駐車場におけるサインデザインの傾向	10
	2-3 海外駐車場におけるサインデザインの傾向	12
	2-4 国内・海外の駐車場事例のデザインおよび機能の比較	14
	2-5 国内利用者の駐車場に対するニーズ	18
第3章	新たな駐車場サインシステムに向けて	20
資料編	① 特色ある駐車場サイン設置事例：国内編	25
	② 特色ある駐車場サイン設置事例：海外編	53

第1章 駐車場サイン計画の必要性

1-1 駐車場サイン計画にまつわる問題

駐車場は重要な都市機能の1つである。都市部においては、駐車場は街のあらゆる場所に設置され、利用者が絶えることはない。また地方都市では、自家用車が主な交通手段である地域も多く、駐車場の利用頻度も高い。近年では、駅までは車で移動し、駅近隣に駐車して電車等へ乗り換える「パークアンドライド」方式の利用も進んでいる。自動車利用が多い地域では、道路や歩道等の交通経路と同様に、駐車場の使い勝手も周辺地域の利便性に大きく関わってくる。駐車場は単なる「車を停める場所」ではない。公共交通機関と同様の役割を担っているのである。

地方都市や都市郊外では、ファッションビル、飲食店、映画館、スーパーマーケット等を備えた複合型の巨大ショッピングセンターの建設が進んでいる。こうした施設には、大規模な駐車場が併設されることが多い。駐車場の規模はとて大きく、例えば東日本最大規模である三井アウトレット木更津（2012年4月開店）は約4,300台、イオンレイクタウン（2008年10月開店）は10,400台を収容する大型駐車場が用意されている。広大な敷地を利用した平面駐車場や多層の立体駐車場など、形式は様々であり、駐車場にはスムーズな利用を促す案内表示が設置されている。しかし、駐車場の大きさゆえに、利用者が「駐車位置を忘れる」などの問題も起きている。最近、スマートフォン用アプリとして、ARシステムを利用した「駐車位置ナビ」が販売され人気を集めているのも、大型駐車場で迷う人の多さを示している。

また、こうした新しい駐車場に限らず、以前から地域で親しまれてきた駐車場でも、建造物の老朽化や、度重なる表記の改変等による駐車場サインの劣化によって「駐車場内で方向が分からなくなる」、「駐車位置を忘れる」などの「迷い」の問題は起きている。こうした問題は、既存の利用者に不便さを感じさせるだけでなく、新規利用者を遠ざける可能性もある。

駐車場の「迷い」を生み出す要因としては、駐車場の大型化と老朽化が挙げ

られる。しかし、根本的な問題は、駐車場の特性を活かしたサイン計画が行われていないことだと考えられる。

駅、空港、道路などの公共交通機関のサイン計画は、都市計画、デザイン、人間工学など、さまざまな方面から研究されてきた。また、商業施設の館内サインは、利用者の視点に立ち、動線や利便性を十分に考慮した上で、サイン計画が立てられる。

しかしその一方で、現在の駐車場内の案内表示には、他の施設用のサイン計画がそのまま利用されることが多い。駐車場に関しては、建造物の構造や設計などについて、建築および都市計画などの分野からのアプローチはされている。しかし、駐車場は、未だ単なる「車を停める場所」として認識されており、駐車場に特化したサイン計画の研究は殆どされていないのが現状である。そして、この認識の遅れが、駐車場にまつわる「迷い」を生み出している。

駐車場の使い勝手は、併設商業施設や周辺地域の印象や、公共交通機関の利便性にも影響を及ぼす。これからの高齢化社会を迎えるにあたり、駐車場内の問題は増加すると考えられる。駐車場における「迷い」は、早急に対処しなければならない。

本稿では、立体駐車場に於けるサインの設置事例を検証し、サインのあり方について提案するものである。

1-2 駐車場の特殊性

駐車場が、他の施設と異なる特殊な存在である理由として、以下の4点が挙げられる。

① 変化する施設の性格

商業施設は、利用者にとっての「目的地」である（図1、ケース1）。また、駅は目的地へ向かうための「通過点」である（図1、ケース2）。

では、駐車場はどうだろうか。駐車場は、往路では目的地へ向かうための「通過点」である。この点では駅と同様に考えられる。しかし帰路では、自分の車の駐車位置まで戻る必要がある。この時、駐車場（駐車位置）は「目的地」となる。このように2つの異なる性質を持つ点が、駐車場が他の施設と大きく異なる点である（図1、ケース3）。

また、往路では、駐車場は目的地へ向かう「通過点」であるため、利用者は素早く移動しようとする。そのため利用者は、駐車位置をしっかりと記憶しないまま移動してしまい、駐車位置忘れにつながると考えられる。

② 駐車場特有の空間

駐車場は、コンクリート打ちっぴなしの無機質な空間であることが多い。特に立体駐車場の場合は、開口部が少ないため、車室内は暗くなりやすく、同じような空間が連続しているように見える。同じような閉鎖的な空間の連続は、駐車場内における位置把握を難しくする。

また、スペースの制約から、適切な場所にサインを設置することが難しい場合もある。このため、サインが見えにくい場所に設置されることや、設置数が足りないことも考えられる。

③ 駐車場内の移動方法と視点の変化

一般的に、利用者は駐車場に車で入場し、駐車後は館内を徒歩で移動する、このため利用者の視点と移動スピードは大きく変化し、記憶が混乱する可能性がある。また、立体駐車場では、車で入場し館内スロープで回転しながら階上へと登っていく方式がよく見られる。さらに構造上の問題から、スロープ位置が階ごとに変化する駐車場もある。このように「回転しながらの移動」と「ス

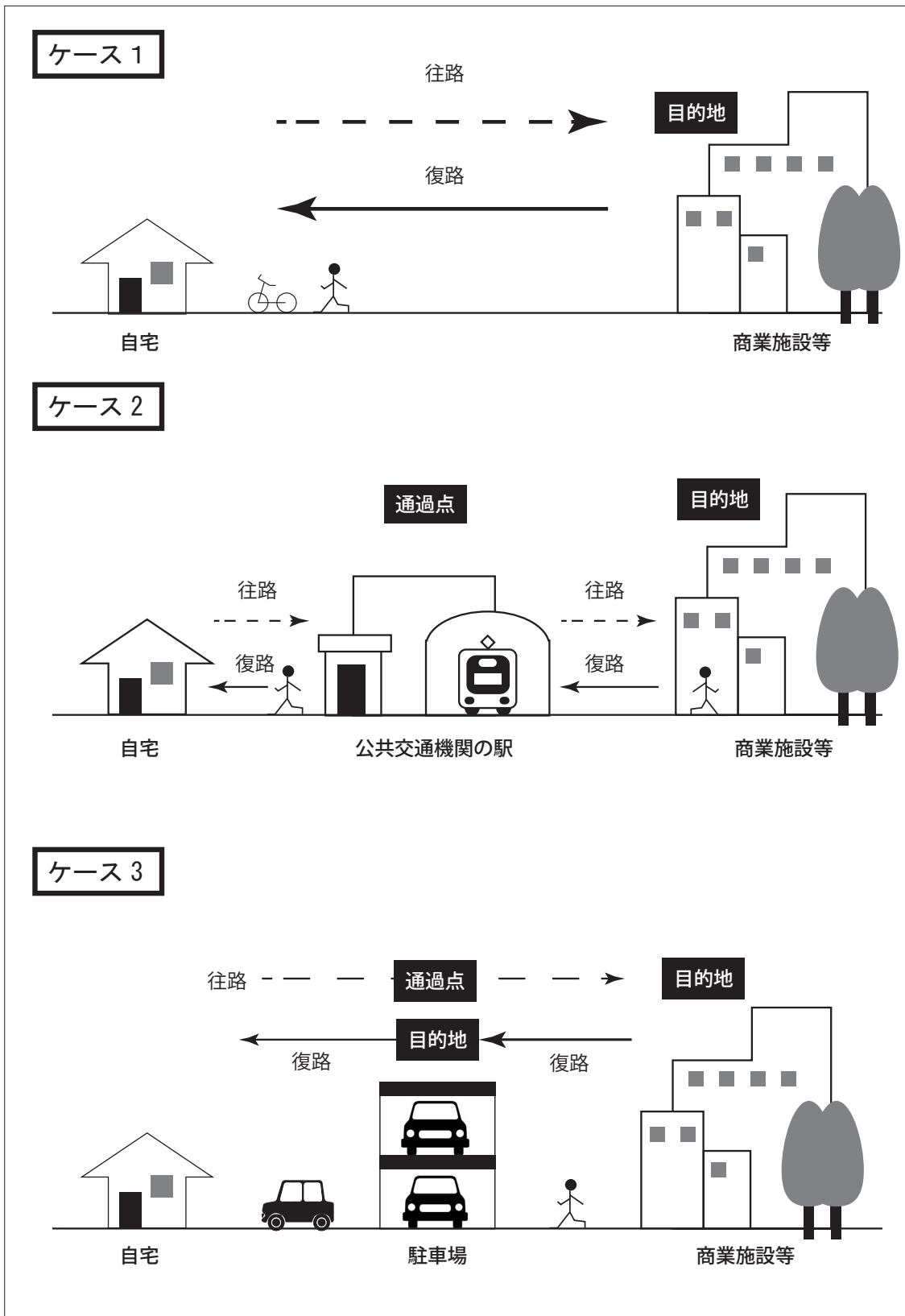


図1 駐車場の性質の変化

ロープ位置の変化」は、利用者の方向感覚を失わせ、駐車場内の位置把握を難しくする可能性が高い。

④ フロアギャップ、スキップフロアによる混乱

駅や商業施設等に直結した立体駐車場の場合、駐車場と商業施設のフロアにずれが生じることがある。本論ではこれを「フロアギャップ」と呼ぶことにする。

商業施設は空間をたっぷりと取ることができるが、併設される駐車場は、空間を最大限に生かすために天井高を低くすることが多い。商業施設と駐車場で天井高が異なるため、フロアギャップが生じる。

例えば「駐車場の4階に駐車し、連絡通路から入店すると商業施設の3階であった」というケースが考えられる。この場合、利用者は「駐車場の3階に駐車した」と錯覚する場合がある（図2）。

また、立体駐車場の構造には、いろいろな形式（フラットタイプ、連続傾床タイプ、スキップタイプなど）がある。スキップタイプ構造の場合には、一定方向に半階毎に昇降するため駐車場の空きスペースを見つけやすく、スロープ長を短くできる特徴がある反面、駐車場によっては1つの階層にフロアが2つ生じ、駐車した階層について混乱を招く場合がある。

例えば、P2階とP3階の間に「M2階」（Middle＝中間）と名付けられたスキップフロアがある立体駐車場を仮定する。利用者は、駐車場1階から入場し、P1階→M1階→P2階を通過し、駐車場のM2階に駐車した。この場合、利用者は「スロープを3回登ったから4階に駐車した」と間違えて記憶してしまう。そのため帰路で駐車場のM4階に行き、車を探すことになる（図3）。

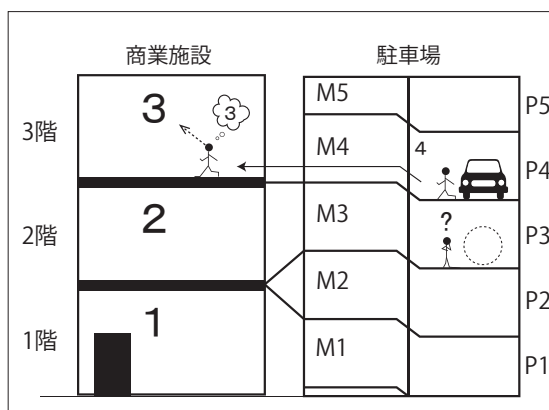


図2 立体駐車場におけるフロアギャップによる混乱例

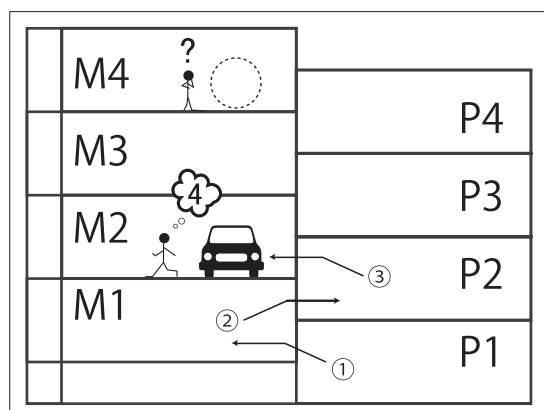


図3 スキップフロアによる混乱例

1-3 駐車場に必要なサイン類

現在の駐車場サインには、どのような種類の表示が用いられているか、一般的な公共交通機関・施設のサインを検証し、相違点を確認する。

国土交通省総合政策局交通消費者行政課監修「公共交通機関旅客施設のサインシステムガイド」を参考にすると、一般的に公共交通機関、公共施設に必要なサインは、以下の4つの種類に分けることができる。

- 1 誘導サイン類：施設等の方向性を支持するのに必要なサイン
- 2 位置サイン類：施設等の位置を告知するのに必要なサイン
- 3 案内サイン類：乗降条件や位置関係等を案内するのに必要なサイン
- 4 規制サイン類：利用者の行動を規制するのに必要なサイン

国土交通省総合政策局交通消費者行政課監修
「公共交通機関旅客施設のサインシステムガイド」より抜粋・引用

駐車場に用いられるサイン類を上記の4つの種類に沿って分類した(表1)。サインの種類や用途は、一般的な公共交通機関と大きくは変わらない。しかし、大きな違いは、サインを見る対象者が「運転者」と「歩行者」の両方がいることである。「駐車場のサイン」は、運転中に見るサイン類が主である印象を受けるが、実は徒歩で移動する歩行者用のサインが大部分を占める。

歩行者用サインは、表示や文字の大きさ、個数、繰り返しの頻度などを歩行スピードと視点に合わせたものにしなければならない。

また、誘導サインや位置サイン類は、運転時と歩行時に見るものが多い。そのため、両方の視点と移動スピードに対応する必要がある。例えば、階層表示は、運転中に見るには大きめのサイズで車高よりも高めに設置されてある事が望ましい。一方、徒歩で移動する際は、高い位置にあるよりも、視線と同じ高さになるほうが、自然に目に入りやすいだろう。これは各駐車場の設計や環境に応じて、どちらの視線に合わせるか、または運転者用と歩行者用を分けて設置する、などの対応策を考える必要がある。

駐車場サインシステムは見えやすさのスタンダードを持ちながら、各施設によって応用可能な柔軟性を持っている必要がある。

表1 駐車場に必要なサインと対象者

	サインの種類	概要	サイン内容	対象者
1	誘導サイン類	施設等の方向性を指示するのに必要なサイン	出入口	運転者
			料金所	運転者
			階層	運転者／歩行者
			特別スペース (身障者用駐車場、親子駐車場など)	運転者／歩行者
			周辺地域への案内	運転者
			駅	歩行者
			近隣施設	歩行者
			連絡通路	歩行者
			エレベーター	歩行者
			トイレ	歩行者
			階段	歩行者
2	位置サイン類	施設等の位置を告知するのに必要なサイン	出入口	運転者
			料金所	運転者
			階層	運転者／歩行者
			特別スペース (身障者用駐車場、親子駐車場など)	運転者
			周辺地域への案内	運転者
			駅	歩行者
			近隣施設	歩行者
			連絡通路	歩行者
			エレベーター	歩行者
			トイレ	歩行者
			階段	歩行者
3	案内サイン類	乗降条件や位置関係等を案内するのに必要なサイン	構内案内図	歩行者
			周辺地図	歩行者
			料金表	運転者／歩行者
4	規制サイン類	利用者の行動を規制するのに必要なサイン	利用案内	歩行者
			駐車場規定	歩行者
			利用案内	歩行者
			精算機操作方法	歩行者

1-4 駐車場に向けた新しいサインシステムの必要性

以上のように、駐車場は、他の施設とは大きく異なる性質を持つ上に、構造、設置条件、利用者の移動条件等によって、利用者の「迷い」を生み出しやすい施設であることが明らかになった。

さらに、既存の駐車場の場合、周辺地域の変化や環境によっても、表示の変更が生じることが予想される。また経年劣化に伴うサインの老朽化も懸念される。こうした時にすぐに新しいサインを作成し設置できれば良いが、実際には、迅速な対応は難しく、現場でサインを修正・加工することも多いと思われる。しかし、このことがサインシステム全体とのずれを生み、情報が混乱する可能性もある。つまり、駐車場サインは、将来の改変に対応するために、メンテナンスしやすいデザインやシステムを持ち、また変更に対応しやすい素材を使用しなければならない。

様々なレベルにおける諸問題が、駐車場の「迷い」を生み出している。これらの問題を解決するために、駐車場の性格を十分に考慮した新たなサインシステムが必要なのである。

第2章 国内外の駐車場事例

2-1 特色ある駐車場サインの事例

新たな駐車場サイン計画の提案に向け、実際に使われている国内外の駐車場サインの実例の調査を行った。調査資料については、一般財団法人つくば都市交通センターの協力のもと、特色のあるサイン計画を実施している駐車場を国内13施設、海外12施設、計25施設ピックアップした(表1)。

写真画像と資料分析および現地への見学を行い、国内と海外に分けて事例をまとめ、巻末に資料として掲載した。それぞれの駐車場サインの特徴を「階層ごと色分け」、「エリアごと色分け」などと分類し、ページ右上に表示した。

本章では、国内と海外のサイン事例を検証し、それぞれのサイン計画やデザイン、機能等を比較し、特徴をまとめ、駐車場サインに求められる要件の提案を行う。

表1 駐車場リスト

国内	1	JRタワーイースト立体・センター屋外駐車場 (北海道札幌市)
	2	ウイングベイ小樽 (北海道小樽市)
	3	リバーウォーク北九州パーキング (福岡県北九州市)
	4	広島市営中央駐車場 (広島県広島市)
	5	桜橋駐車場 (大阪府大阪市)
	6	大手町中央駐車場 (広島県広島市)
	7	タイムズステーション池袋 (東京都豊島区)
	8	エンゼルパーク (愛知県名古屋市)
	9	星が丘駐車場 (愛知県名古屋市)
	10	船橋北口駐車場 (千葉県船橋市)
	11	金沢駅西口時計駐車場 (石川県金沢市)
	12	長堀通地下駐車場 (大阪府大阪市)
	13	高松市立瓦町駅地下駐車場 (香川県高松市)
海外	1	フロントパーク1 (ベルギー、ブリュッセル)
	2	インターパーキング中央駅駐車場 (ベルギー、ブリュッセル)
	3	モリノドリーノP&R駐車場 (イタリア、ミラノ)
	4	リスボンショッピングセンター (ポルトガル、リスボン)
	5	セレスタン円形地下駐車場 (フランス、リヨン)
	6	パークハウス駐車場 (ドイツ、ミュンスター)
	7	エトワールP&R駐車場 (スイス、ジュネーブ)
	8	ライナオハーフェン駐車場ライン川沿い地下駐車場 (ドイツ、ケルン)
	9	共和国広場地下公共駐車場 (チェコ共和国、プラハ)
	10	コルバナナ駅地下駐車場 (スイス、ジュネーブ)
	11	デファンス駅駐車場 (フランス、パリ)
	12	テロー広場地下駐車場 (フランス、リヨン)

2-2 国内駐車場におけるサインデザインの傾向

国内駐車場のサインデザインの大きな特徴として、1つの施設内に多数の色彩を用いることが挙げられる。特に立体駐車場では、階層ごとにシンボルカラーを用いている例が多かった。さらに、施設案内、身障者用スペース表示、関連施設表示などにも別の色彩を使用するために、1つの駐車場で10色程度の色彩を用いている例もあった。また、フロア面積が広い駐車場の場合は、フロアを色彩とアルファベット表示によって区分けする例もよく見られた(図1)。

イラストや写真図版を用いる例や、親しみやすいキャラクターや、動物、花、果物などを図案化したものも多い(図2)。

掲示されるサイン類は小型～中型サイズが中心で、吊り下げ式や壁面に設置したものが多く見られる(図3)。またサインの種類が多く、何度も繰り返して設置している。さらに、既存のサインに加えて、手書き等の追加情報が併記された例も、国内ではよく見られる。

国内駐車場サインの特徴を明確にするために、サインシステムに必要な要件(明瞭性、単純性、連続性、統一性)と、サインの見え方、情報の集約度、デザイン性、利用者サービスの項目に分けて評価を試みた(図4)。

国内の駐車場サインの特徴の一つである、小～中型のサインを施設内に複数繰り返して掲示することは、サインが利用者の目に触れる機会が増えることになる。しかしその一方で、情報の重複・混乱を引き起こしやすく、また見た目

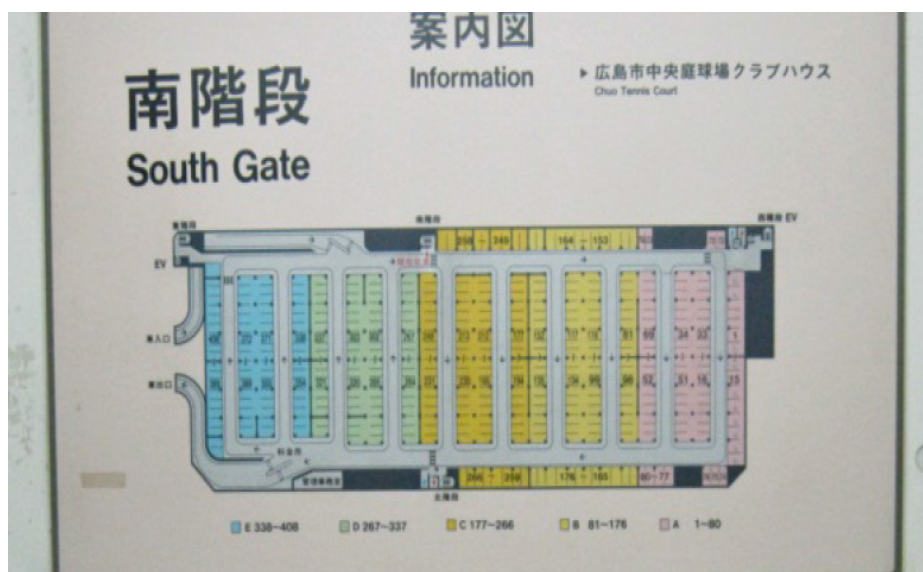


図1 広いエリアを色分けして表示した例

にも統一感がとりにくい。

手書きサインの追加、多色使い、表示内容の多さといった国内駐車場サインの特徴は、サービス重視の側面からは評価すべき点である。しかしその一方で、情報の付け加えや、サイン表示の過剰な繰り返しは、かえって利用者の混乱を招く恐れがあるため、十分に考慮する必要がある。



図2 親しみやすいサイン 図3 吊り下げ式のサイン

	サインの見え方		情報	デザイン	利用者サービス	
	視認性	誘目性	情報の集約	デザイン性	利用者への配慮	親しみやすさ
項目内容	サインが見えやすいか	サインが目立ち目を引くか	情報が整理されているか	デザインが優れているか	利用者に十分な配慮、思いやりがあるか	駐車場に親しみやすい演出がされているか
国内	○	○	○	△	◎	◎
備考	サインが小さく、見にくいものがある。複数のサインが表示され、サインが目立ちにくい。		情報が重複していることがある	デザインが統一されていない例がある。	可愛いキャラクターの利用、追加サインなど、利用者のニーズに答える姿勢が見られる	

	サインシステム			
	明瞭性	単純性	連続性	統一性
項目内容	サイン表示の内容が明瞭か	サイン表示が単純か	利用者の必要に応じて繰り返しているか	サインシステムに統一性があるか
国内	○	○	◎	△
備考	丁寧に表示している	多色使い、複数の内容表示など情報過多な場合がある	様々なところにサインが表示され、繰り返される。	統一されていない例がある。

図4 国内駐車場サインの特徴

2-3 海外駐車場におけるサインデザインの傾向

海外の駐車場サインは、色彩の効果を活かした例が目立った。施設のシンボルカラーが1～2色に絞られ、これに沿って施設全体がカラーコーディネートされた事例が多い。色彩は、鮮やかな赤や黄色等の高彩度の色彩が多く、ビットトーンやストロングトーンの色合いが、暗くなりがちな駐車場で目立っている（図6）。また、歩行者通路や車道を塗装し、はっきりとした色彩で色分けされている。

フロアのエリア表示は、日本国内と同様に、色分けとアルファベット表示によって区分けされることが多い。書体はゴシック体（サンセリフ）を用い、大きく表示されている。数字を用いた合理的な例も多い（図7）。また、サインは壁面等を利用した大型のものが多く、その反面、設置数が少なかった（図8）。

イラストを用いたサイン設置例も見られる。日本に比べ、デフォルメされたシンプルなイラストが多く、ピクトグラムと上手く組み合わせられている（図9～10）。

海外駐車場のサインを、サインシステムの要件に当てはめると以下のようなになる（図5）。

海外の駐車場サインは、システムティックで、デザインへの配慮が高いものであることがわかる。しかしその一方で、サインの設置数は少なく、情報量も

	サインの見え方		情報	デザイン	利用者サービス	
	視認性	誘目性	情報の集約	デザイン性	利用者への配慮	親しみやすさ
項目内容	サインが見えやすいか	サインが目立ち目を引くか	情報が整理されているか	デザインが優れているか	利用者に十分な配慮、思いやりがあるか	駐車場に親しみやすい演出がされているか
海外	◎	◎	◎	◎	△	△
備考	サインが大きく、はっきりとした色彩を用いているため、施設内でよく目立つ。文字も大きく見えやすい。		情報がよく整理されている。	デザインが統一されている。	合理性やデザイン性が優先されている。	

	サインシステム			
	明瞭性	単純性	連続性	統一性
項目内容	サイン表示の内容が明瞭か	サイン表示が単純か	利用者の必要に応じて繰り返しているか	サインシステムに統一性があるか
海外	◎	◎	△	◎
備考	表示内容が少なく分かりやすい。	装飾の少ないシンプルなサインが多い。	設置されているサインの数が少ない	サインシステムが統一されている。

図5 海外駐車場サインの特徴



図6 ビビットな色彩を用いた例



図7 車室のナンバリング



図8 海外例：壁面を大きく使った色彩によるサイン



図9,10 女性用駐車場スペース ハートのアイコンと色分けによって表示している。

限られているため、利用者にとってはやや不親切と感じられる可能性もある。

2-4 国内・海外の駐車場事例のデザインおよび機能の比較

国内駐車場と海外駐車場のサインデザインについて、項目に分けて比較する。

① サインの表示方法（書体、イラスト、表記方法）

国内、海外ともに、駐車場のサインにはゴシック書体（サンセリフ）が使用されていた。国内では1つの駐車場で複数の書体が混在する例もあるが、海外ではほとんどが同一書体に統一されている。

国内の駐車場サインは、色や数字、アルファベット、文字（ひらがな、カタカナ、漢字）、イラスト、画像など、様々な要素を用いながら、駐車位置や利用者の現在位置を示す例が多い。イラストや画像は、子供が描いたものや、可愛いモチーフが多く、親しみやすさを演出している。また、地下駐車場では、地図上に周辺のランドマークを示すことで、利用者が現在地を把握しやすいように工夫されている。

一方で、海外事例では、数字で階層を示し、フロア内のエリア表示を色とアルファベットで表示している例が多くみられる。またイラストをサインに利用している例もあったが、デフォルメされたシンプルな絵記号のようなものも多い（図11）。駐車場内には周辺地域のランドマーク表示が殆ど見当たらず、出入口付近に文字のみで表示されるに留まっていることが多い。海外では、駐車



図11 海外例：デフォルメされたシンプルなイラスト

場は周辺地域との関連性を強調するのではなく、駐車場を一つの独立した建造物として意識されている。

② 色彩

国内と海外で大きく異なったのは、色彩の使い方であった。

国内では、階層ごとに色分けし、壁面、柱、廊下、ドア等の色を塗り分けている例が多く見られた。また、1つの階層をエリア毎に色で区切っている駐車場もある。そのため、1つの駐車場に多数の色彩が用いられる傾向が強い。着色する際には、車室の壁や柱の一部のみを着色していることが多かった。

海外では1つの駐車場に対して色数が絞られ、またはっきりとした色彩が使われていた。また、壁や柱一面に色を塗っているため、強いインパクトを生み出している。

③ 車室内の案内表示方式

車室の表記については、海外では「3456」などの複数桁の数字を各駐車スペースに表記し、番地のようにしていた。これに対して、日本では車室番号も用いる際も2桁ほどで、車室番号表示がない駐車場もあった。海外のように車室にナンバリングをするのは、合理的でスマートだと感じる一方で、複数の桁の数字を暗記するのは、利用者にとってはややハードルが高いように感じられる。

④ サイン表示内容

海外では、ひとつのサインに表記される内容が少なかったのに対して、日本では多数の情報が羅列される傾向が強い。海外では表示する情報を整理し集約する傾向が強く、日本では複数の情報を提示し、また何度も繰り返す例が多い。これは利用者からの質問や苦



図 12 国内例：複数情報の表示

情への対応と考えられる（図 12）。

⑤ 特別スペースへの配慮

国内、海外ともに、身障者用駐車場には特別な配慮がなされており、一般スペースと区別させるために色分けが行われている。

海外では「女性専用駐車場」を設置している駐車場が多い。これは治安上の問題や、子供連れの女性に対する配慮であろう。女性専用駐車場にも、色分けやピクトグラムによる表示によって区別を行っている事例が多い。

⑥ デザインへの配慮

海外と国内を比べると、海外駐車場のサインは、建築物や内装とトータルコーディネートされ、デザイン性の高いものが多い。建築もレンガ貼りやガラス貼りのファサード等、一見すると駐車場らしくなく、一つの独立した建築作品として捉えられ、周囲の環境との調和が重視されている印象がある（図 13、14）。

国内の駐車場は、収容台数を最大限にとった機能重視の建築物であることが多い。殺風景になりやすい施設内に、市民公募のアート作品を配置した例や、だまし絵の壁画、美しい写真や図版を飾ることで、室内の印象を和らげると共に、位置確認の目印として活用する事例が見られる（図 15～17）。

海外と国内の駐車場サインデザインと機能の違いを一言で表すとすれば、国内は「利用者への親切心」であり、海外は「利用者の自主性の尊重」といえるだろう。



図 13,14 海外例：駐車場外観



図 15,16 国内例：アートを取り入れた例



図 17 国内例：写真を取り入れた例

日本の駐車場サインは、色、数字、イラストなどを駆使し、様々な情報を継ぎ足しながら、利用者の利便性に気配りした「サービス」的な要素の強いものであった。その一方で、海外の駐車場は駐車機能を優先に考え、サインは合理的かつ単純でインパクトの強い表記が多く、デザインに配慮されたものであることが分かった。

2-5 国内利用者の駐車場に対するニーズ

前項の比較を通じ、国内と海外での駐車場に対する考え方が全く異なることが分かる。特に国内では、利用者が駐車場に求めるニーズによるものであり、海外では駐車に特化した建築物であるという差異だと考えられる。ここでは、国内利用者の駐車場に対する考え方をまとめる。

国内では、駐車場内のサイン表示の数量が多く、さらに一度に提供される表記内容も複数あった。また、フロアマップを施設内に複数掲示することによって、現在地（駐車位置）と施設内位置を把握しやすいよう工夫されている（図18）。さらに、利用者からの質問に対応するためと考えられる、手書きの案内等や、後から付け加えられたサイン表示が多くみられる。このような表示が必要になる理由としては、サイン計画が機能していない、サイン不足などの計画に起因するものと、「早めに情報を得たい」という利用者ニーズの両方が考えられる。

一方で、海外のサインデザインは「現在地の把握」を重視していないように思える。周辺施設への方向指示は、出口付近のみにまとめられ、車室内には極めて少ない。駐車場は、周辺地域や併設施設とは切り離され、独立した1つの



図18 駐車位置を忘れないための、カードの配布サービス



図19 駐車場の出入り口に「お帰りなさい」の文字が出迎えてくれる

建造物として捉えられていた。

また、駐車位置をナンバリングすることで、駐車位置を利用者に記憶させる方式を取っている。利用者もこれを受け入れていたのが印象的である。駐車場内に手書きなどの追加された情報が見当たらないことは、情報の整理・集約が成功し、駐車場サインがうまく機能しているためである。

大きな色面を大胆に使った壁面サイン表示は、視界に入りやすく、印象に残りやすい。使用される色数も少なく、はっきりとした色調が多いのも、サインの記憶に役立つと考えられる。

海外駐車場サインの特徴である、はっきりとした色使い、大きな色面を使った壁面型サイン表示、システムティックなサイン表示、情報の整理・集約は、日本国内の駐車場サインにも有効である。しかし、海外駐車場のような機能性を重視したサインシステムでは、国内では「不親切」と捉えられる可能性もある。

国内では、多色使いの色彩や、写真図版や可愛いイラストを使ったサインも多い。無機質で単調になりやすい駐車場に変化を与える「親しみやすさ」の演出は、利用者にも好意的に受け取られている可能性が高い。国内駐車場では、しばしば「おかえりなさい」や「お気をつけてお帰りください」といったサイン表示が見られる（図 19）。また、丁寧な誘導とサービスが好評の駐車場もある。これは、利用者側も、管理側も、駐車場を単なる通過点ではなく、「帰ってくる場所」や「愛着のある場所」として捉えているためだと考えられる。

上記のことから、国内の駐車場における利用者のニーズとして、以下の3点が挙げられる。

国内の駐車場における利用者ニーズ

- 1 施設内の現在地（または駐車位置）の明示
- 2 早めの情報提供
- 3 親しみやすさの演出

駐車場サインシステムの構築にあたって、設計側のこうした利用者ニーズを十分に理解し、考慮する必要がある。

第3章 新たな駐車場サインシステムに向けて

第1～2章を通じて、駐車場の特性と駐車場サイン特有の問題について検討してきた。これまでの国内外の事例を考察し、新たな駐車場サインシステムに必要な要件を挙げるとすれば、以下の10点となる（図3）。

① 記憶のしやすさ

駐車場は「通過点」であり「目的地」でもある。この相反する条件を持つ施設は、他にはないだろう。

一般的な公共施設のサインの場合、利用者の「スムーズな移動」を促すことが最大の目的である。現在地を認識させる「位置把握」と、現在地から目的地へと向かう「方向指示」、この2点を分かりやすく伝えることに主眼がおかれている（図1）。

駐車場においても「位置把握」と「方向指示」が重要であることは変わらない。しかし、他の施設と異なる点は、ここに車の停車位置を「記憶」する必要がある、という点である。駐車場のサインシステムには、「自分の位置（現在地）」、「これから向かう方向（未来）」、「駐車位置（過去）」という、3つの異なる事柄を

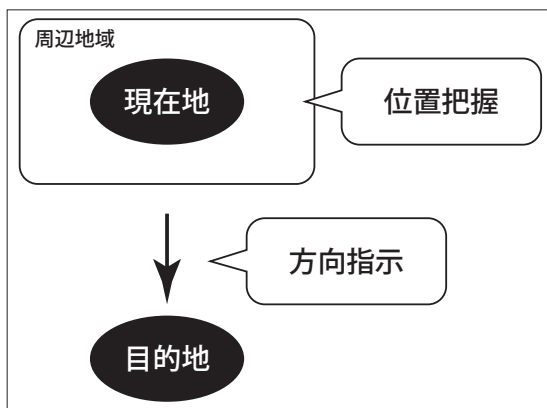


図1 一般的な施設におけるサイン指示

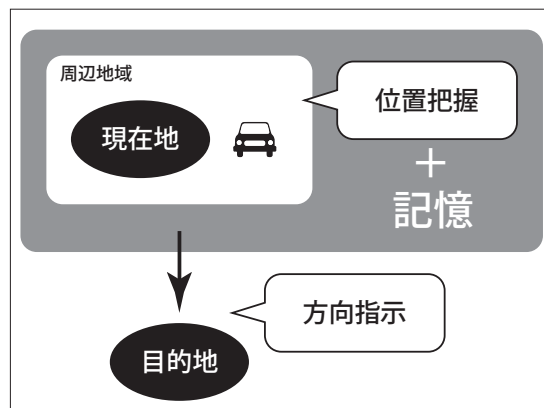


図2 駐車場におけるサイン表示と記憶の関係

認識し、記憶する必要がある（図2）。

「駐車場における自分の位置を把握」した上で、「駐車位置を記憶」し、「目的地への方向」に向かって移動する。駐車場の利用者にとって、この一連の行動をしながら、一度に複数の事柄を覚えるのは相当の負荷となる。

また、目的地へ急いでいる人、荷物の多い人、小さな子供のいる家族連れ、高齢者にとっては、「駐車→方向確認→目的地への移動」を行いながら、併せて駐車位置を記憶することは難しい。駐車場サインは、複数の行動をしながら「鮮烈な記憶が残ること」が重要である。

② 位置把握のしやすさ

駐車位置を記憶するために、利用者は、自分の現在地と、施設内における駐車位置の相関関係を正確に把握する必要がある。

往路では目的地にスムーズに向かうため、復路では正確に駐車位置に戻ってくるために、位置の把握は重要であるし、利用者が出発時とは別のルートで駐車場に戻ってくる際にも有効である。駐車場のサインシステムを考える上で、方向指示だけでなく、いかに駐車位置を現在位置の情報と結びつかせるかが重要となってくる。このため、短時間で位置把握できることがサイン計画の要件となる。

③ サインの視認性、可読性、誘目性の確保

立体駐車場は、照度基準が決められているものの、最低限の明るさにしていることが多く、一般的に車室内が暗い。そのため運転しながらも見やすいように、サインははっきりと見えやすく、文字は読みやすい書体と大きさをなければならない。また、サインも大きめで、遠くからも見えやすい位置に設置しなければならない。

色彩は、暗い車室でも見えやすい彩度の高い色彩が望ましく、また他の色と混同しないように、色数は抑えたほうが良いように思われる。

④ 情報の集約

複数の情報が一度に提示されると、必要な情報を判別するのは難しい。特に運転しながら見るサインは、移動スピードを考慮すれば、表示される情報が絞られている必要がある。

しかし、情報を絞った小さなサインが、施設内に大量に表示されている場合も、利用者の混乱を招く。反対に、個数を限定しすぎることによって、利用者がサインを見落とすことがないようにしなければならない。

⑤ 適度な繰り返し

駐車場内のサインは、利用者の視点の変化、利用方法を十分に考慮した上で、必要な情報量を見極めるべきである。さらに動線に合わせて適度に繰り返し、記憶しやすいように配慮すべきである。

⑥ シンプルなデザイン

運転者にとって読みやすく分かりやすい、速断できるサインを目指すために、シンプルなデザインであることが望ましい。

⑦ 高いインパクト

駐車位置の記憶のしやすさや、スムーズな移動のために、インパクトの強いデザインが、機能的に働くことが求められる。

⑧ 運転者と歩行者の両方に対応するサイン

駐車場のサインは、運転者と歩行者の両方が利用する。そのために、どちらにも対応したサインでなければならない。利用者の動線と視点、移動スピード、利用目的の変化に合わせて、サインのサイズ、種類、繰り返しの頻度を考慮する必要がある。

⑨ 親しみやすさ

合理的で機能的なサインシステムは必要不可欠ではあるが、利用者が求める「親しみやすさ」にも配慮しなくてはならない。国内では、早めの情報提供、丁寧な表示や対応が好まれる傾向がある。「おもてなし」の気持ちが、駐車場の好感度を高め、利用客の増加につながることを期待される。

⑩ メンテナンスのしやすさ

駐車場サインは、隣接する商業施設や周辺環境の変化によって、表示が変更されることが多い。また屋外駐車場の場合、設備が劣化しやすく、サイン表示も見えにくくなりやすい。さらに利用者の要望に合わせて、サインを追加する可能性も高い。

これまで駐車場のサインには、耐久性の高い素材が使われることが多かったが、こうした変化や利用者からの要望に迅速に答えるために、メンテナンスのしやすい素材の選択が重要である。また、サインが追加されることをあらかじめ考慮して、数年後も対応できるように、書体、色、ロゴマーク等についてデザインマニュアルを作成し、管理する必要がある。

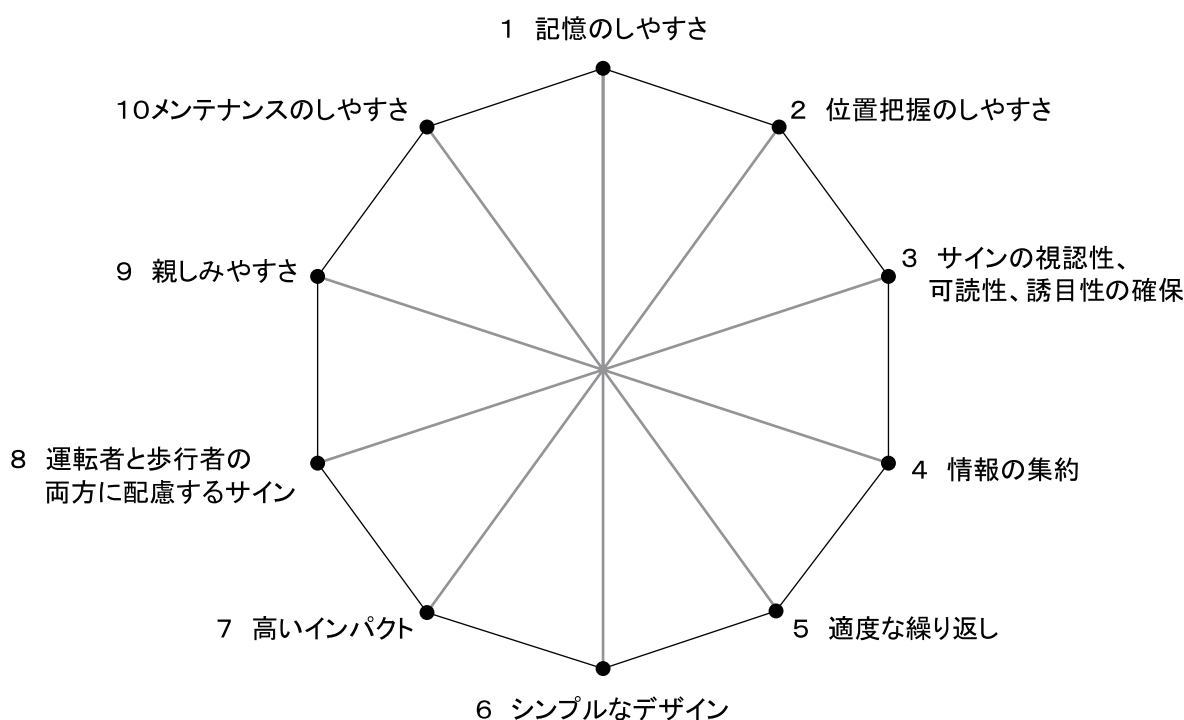


図3 新たな駐車場サインシステムに必要な要件

駐車場は、駐車場の構造や立地環境によって、設置基準が大きく異なる。駐車場サイン計画を行う際には、これらの条件を考慮しながら、上記10項目に留意することで、効果的な駐車場サイン計画を行うことが可能となる。

特色ある駐車場サイン計画実例 ：国内事例

*サインデザイン、表示方法等については、取材・撮影時のものであり、現状と異なる場合があります。ご了承ください。

JR タワーイースト立体・センター屋外駐車場

事業者名称：札幌駅総合開発株式会社

所在地：北海道札幌市

オープン：2003年3月

構造階層：立体10階

収容台数：計807台

主な利用者：周辺施設利用客

JR札幌、地下鉄、バスターミナルの集合地点に立地した大型駐車場である。屋外駐車場は、JR札幌駅の屋上を利用している。併設施設には、芸術家の作品や、一般公募されたイラストなどが展示されている。駐車場のサインにも、一般公募された野菜と果物のイラストレーションが用いられ、階層表示の目印となっている。巨大な複合施設の各所にアートを巧みに配置し、ランドマークとして活用されている。



JR札幌駅に隣接された大型駐車場である。



JR札幌駅の屋上を利用した屋外駐車場。エリアごとにアルファベット表示されている。上空から見ると、排気口の屋根に、札幌市内や近郊の観光地を指し示す矢印が表示されている。アーティスト菊竹雪によるアート作品。



駐車場内を野菜と果物のイラストレーションによって階層分けしている。柱表示、ドア表示、館内フロアマップの各所に、このイラストレーションによる案内が行われている。



イラストレーションは壁面に直接描画されている。

柱表示はダークグレーを基調としている。



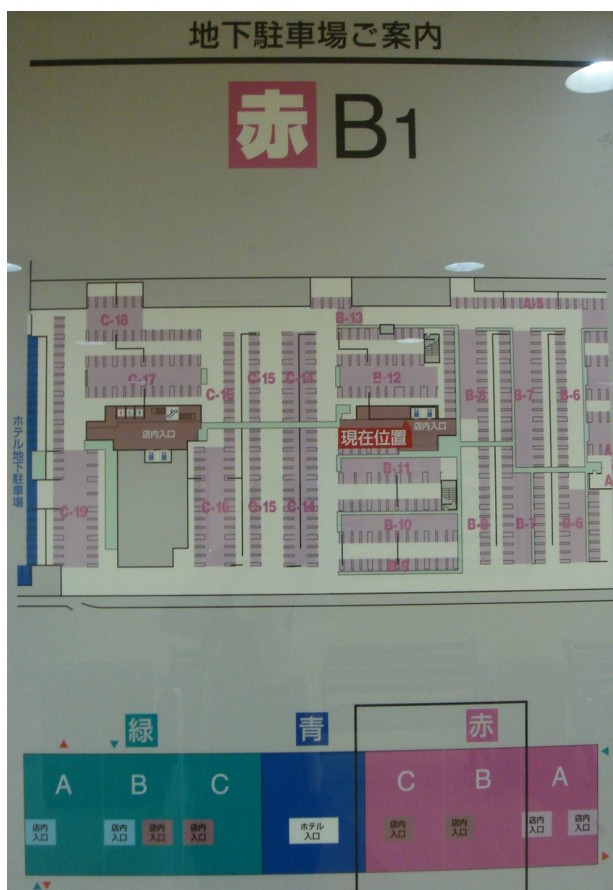
フロアマップや階段ドアなどにもイラストレーションが表示されている。

ウイングベイ小樽

事業者名称：小樽ベイシティ開発
所在地：北海道小樽市

構造階層：立体(5~8階)、地下、平面
収容台数：5000台
主な利用者：周辺商店街

駐車場は、大型ショッピングモールの一部となっている。商業施設に合わせて、1~6番街まで色で分けられ、さらにアルファベットでエリア分けがされている。壁面を大きめに取った色彩表示が見えやすい。



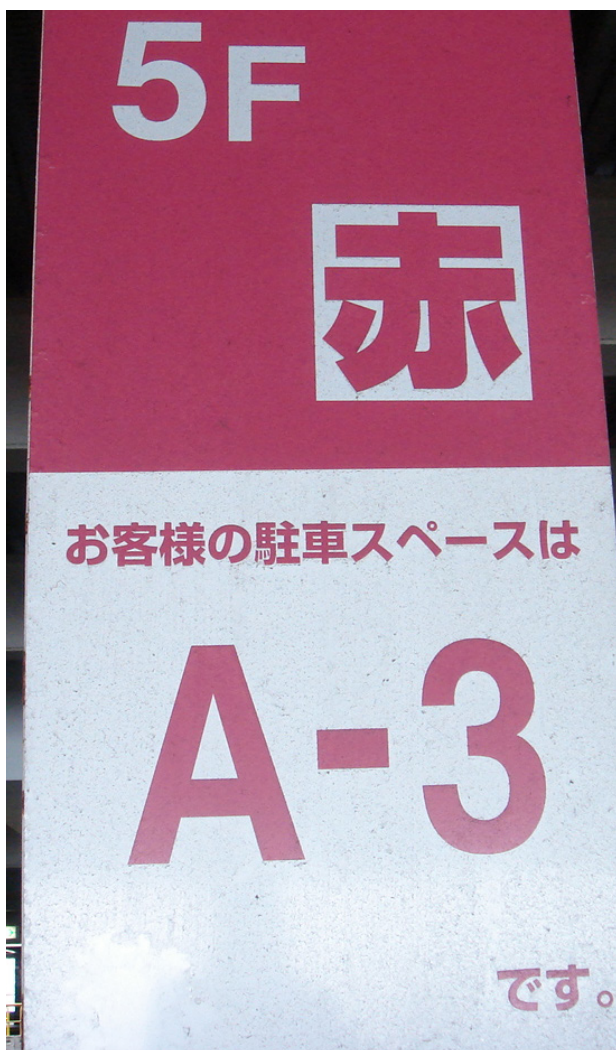
フロアマップに色分けが表示されている。



車室内でも色彩が目立って分かりやすい。



エリアを色とアルファベットに分けている。通路幅は7mと広く取られている。



大きめの色彩表示を効果的に利用した案内表示。



大きめの矢印で方向指示している。



リバーウォーク北九州パーキング

事業者名称：北九州紫川開発(株)
所在地：北九州市小倉北区

構造階層：立体自走5階
収容台数：800台
主な利用者：併設施設利用者

大型商業施設、劇場、美術館からなる大型複合施設に併設された立体駐車場である。印象的な外観と合わせて、案内表示がカラーリングされている。併設施設への方向指示サインには、併設施設のロゴマークと書体、ピクトグラムが使用されている。

車室内は、柱のやや上部に色が塗られ、運転者が見渡しやすく工夫されている。



劇場・美術館併設の立体駐車場。



カラーコーディネートされた出入口。



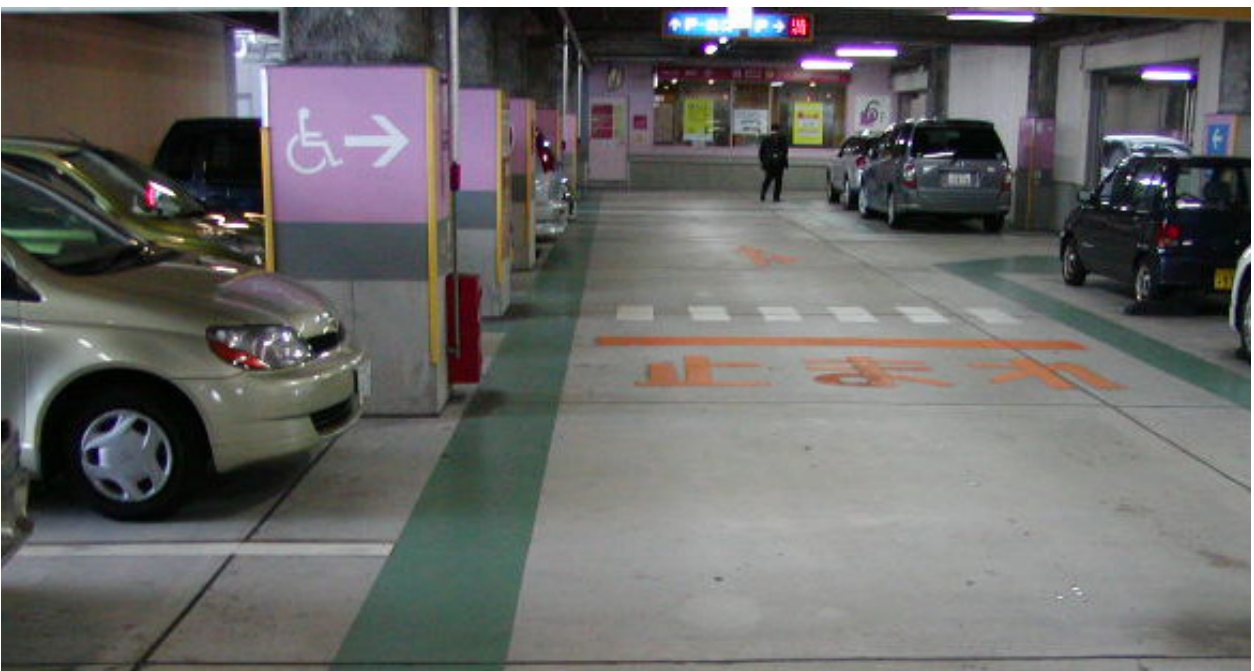
芸術劇場および美術館への方向指示案内。



車室内はエリアごとに色分けされており、見渡しやすい。



駐車場内への出入口付近に、併設施設への案内表示が固められている。



身障者用駐車場がアイコンと矢印によって示されている。

広島市営中央駐車場

事業者名称：広島市

所在地：広島市八丁堀

構造階層：自走式地下（1層）駐車場

収容台数：591台

主な利用者：近隣施設の利用者

市営による地下1層の広大な駐車場である。上部はテニスコート等になっている。場内は、見通しがよく、かなり使いやすい設計になっている。広いワンフロアを、5つのエリアで区切り、アルファベットと色でエリア分けを行っている。シンプルな表示方法で視認性が高い。柱表示は、4面でアルファベットを配置し、どの方向からも見えやすいように工夫されている。案内図には、周辺施設への案内指示が追加されており、利用者が現在位置と方向を掴みやすいように配慮されている。



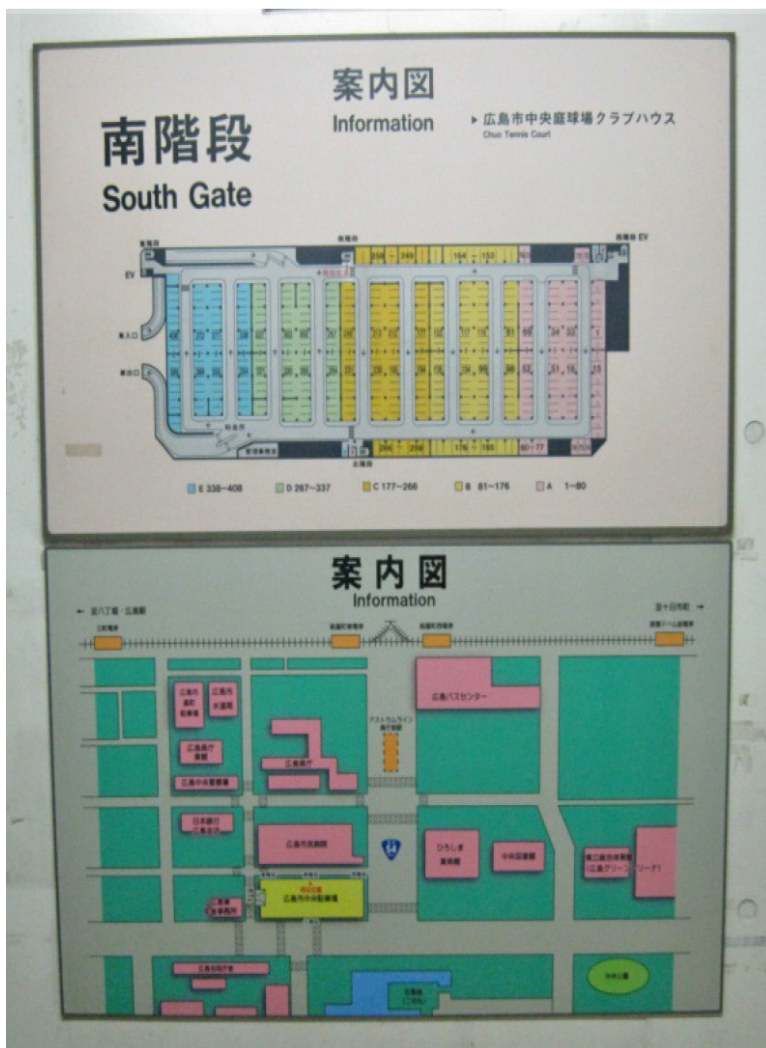
アルファベットとパステル調の色彩によってエリア分けされている。



広い車室内のすべての柱にサインが設置されているため、利用者の目に入りやすい。



サインがやや高めに設置されているため、満車時でも見えやすい。



エリアの案内図は大きく、色分けされている。案内図周辺に、周辺施設の情報が表示されており、わかりやすい。

桜橋駐車場

事業者名称：TFI 株式会社
所在地：大阪市北区
オープン：1998年

構造階層：地下駐車場
収容台数：計200台
主な利用者：駅、商業施設者

国道2号線の下にある地下駐車場である。地下街につながっており、駅や商業施設利用客が多く利用する。大きな地下の駐車場のため、エリア分けがされている。柱にエリア別の色が塗装され、車室の位置を示す番号が振られている。

身障者用駐車場は、柱に大きく表示があって分かりやすい。身障者の車両が近づくとセンサーが感知し、ロック板が倒れるシステムを取っている。



駐車場内は広く、見渡しやすい。



駅や周辺地域への案内が大きく掲示される。



柱に車室番号が振られている。



吊り下げ式のサインに出入口が表示される。



柱全体を色彩で塗装して、エリア分けを行っている。



身障者駐車場が柱に大きく表示されており、わかりやすい。



歩行者優先通路の表示。柱の上部と車道表示されている。

大手町中央駐車場

所在地：広島市中区大手町

構造階層：連続傾床式対面通行型

収容台数：250台

主な利用者：近隣の商業施設利用者

商業施設の近くにある立体駐車場である。車室内に設置された柱表示がとても目立ち、高いサイン効果を上げている。

フロアごとに色分けされ、柱表示には階層が数字とアルファベットで表記されている。階層表示が、天井近くの高い位置にあるため、遠くからでも見やすい。

階段のドアにも大きなサインが設置されており、利用者の記憶にも残りやすい。



駐車場外観。



はっきりとした色使いは、暗くなりがちな車室内でよく目立つ。



階段ホールから見たドア。大きなサインが設置されている。



色の面積が広く、目に留まりやすい。

タイムズステーション池袋

事業者名称：タイムズ 24 株式会社
所在地：東京都豊島区東池袋

収容台数：250 台
主な利用者：併設施設の利用者



池袋駅近くにある立体駐車場である。1階にファミリーレストラン、スパ、保育施設などが入っており、駐車場の利用客層は広い。

車室内表示に、東京タワーや、広島の厳島神社などの日本国内の有名な風景写真を使用したサイン表示をしている点がユニークである。スタイリッシュな写真とサインデザインが利用客の目を惹くと共に、印象に残りやすい。



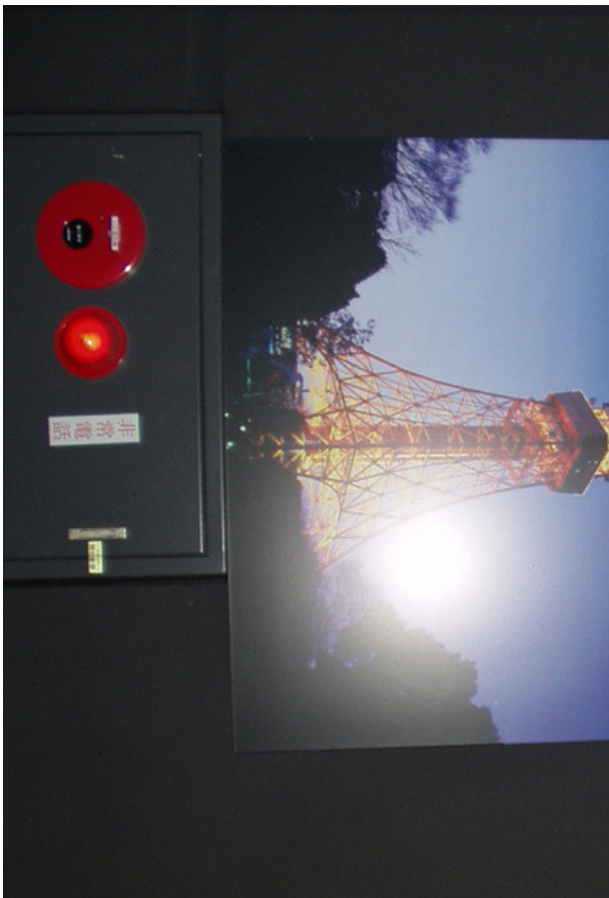
ビルの1～2階はレストランや保育施設などが入っている。



梁や車室内は、ダークグレーを基調とした落ち着いた雰囲気であるが、歩行スペースはベージュやウッディな素材を使い、ソフトな印象にまとめている。



階層表示と風景写真をレイアウトしたサイン。



スタイリッシュで都会的なサインデザイン



フロアマップに各階サインが掲載されている。

エンゼルパーク

事業者名称	：株式会社エンゼルパーク	構造階層	：地下2階層
所在地	：愛知県名古屋市中区	収容台数	：843台
オープン	：1966年	主な利用者	：百貨店、商業施設利用客

松坂屋、三越、パルコなどの百貨店・商業施設に隣接しており、利用客がとても多い駐車場である。昭和41年開業でありながら、電気自動車など常に時代の先端に行く設備を実施し2004年には、駐車場整備推進機構が制定した第1回ベストパーキング賞特別賞を受賞している。



目的地までの方向指示も、壁面をいっぱいに使っているため、利用者にも分かりやすい。



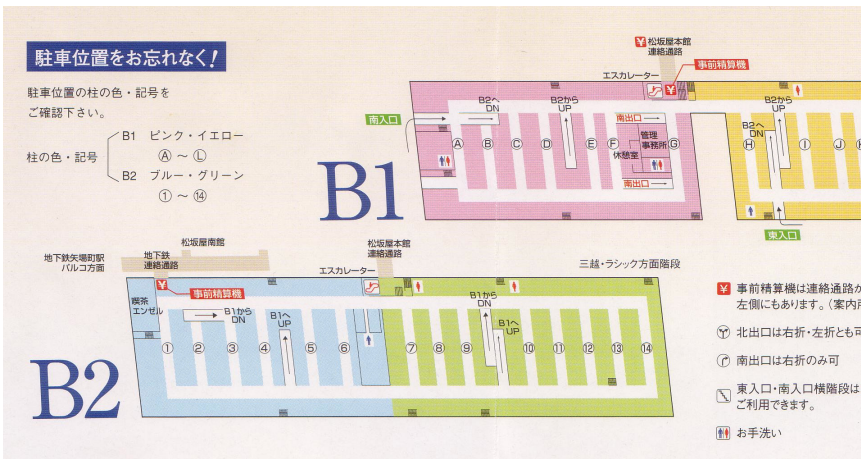
大型のサイン表示や、キャラクターやトリックアートを使うなど、壁面を効果的に利用している。



大きめの色面にアルファベットによるエリア分けがされている。



トリックアートを使ったユニークな壁面装飾。



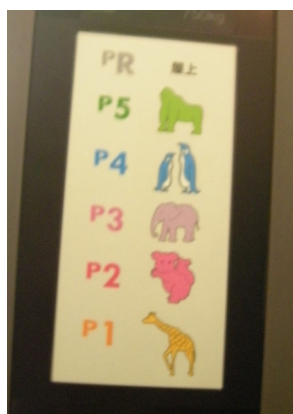
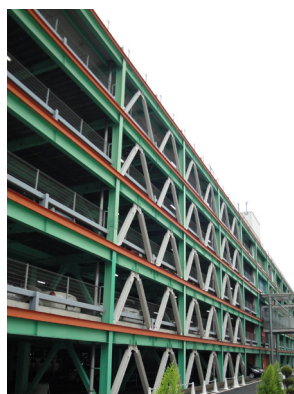
案内表示もエリアごとに色分けされている。駐車位置のマップサービスも行っている。

星が丘駐車場

事業者名称：東山遊園株式会社
所在地：愛知県名古屋市千種区
オープン：2000年

構造階層：立体駐車場5階6層
収容台数：1200台
主な利用者：百貨店、商業施設利用客

名古屋市東部地区に計画された複合商業施設“星が丘テラス”に併設の立体駐車場である。各階に配された動物キャラクターのサインが印象的である。各フロアごとに5種類の動物と色分けでサイン表示が行われている。館内デザインが統一され、洗練された印象を受ける。2007年には、駐車場整備推進機構制定の第1回グッドパーキング優良駐車場を受賞している。



階層ごとに動物キャラクターが描かれている。



エレベータードアもカラーリングされている。



柱表示と自動販売機にも、動物キャラクターとカラーリングが行われている。



鮮やかな黄色を用いて壁面に描かれたキリンのイラストレーション。



2階はコアラの親子が描かれている。壁面を大きく使ったサインが印象的である。

船橋北口駐車場

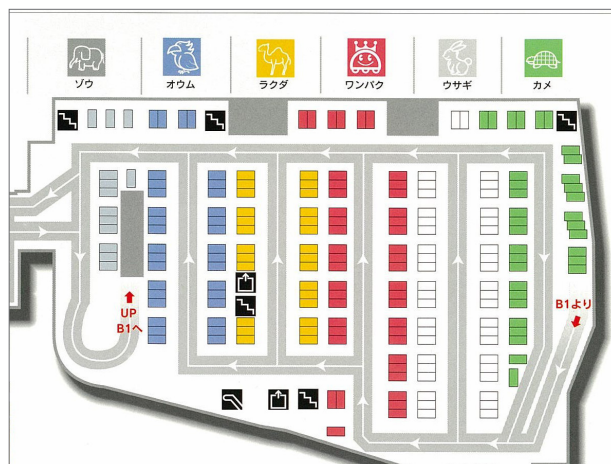
事業者名称：(株) 船橋都市サービス
 所在地：船橋市本町
 オープン：1990年

構造階層：地下自走式、機械式
 収容台数：計563台
 主な利用者：商業施設利用客、駅利用者

JR 総武線 船橋駅の北口広場地下に、船橋市が公共事業で整備した地下2階の駐車場である。エリアを12ブロックに分け、それぞれ異なるキャラクターとカラーリングを行っている。地下1階は四季の花々、地下2階は船橋市「ワンパク王国」のマークと動物キャラクターを用い、親しみやすさを演出している。駐車場所を忘れないように、利用者にカード配布も行っている。



駅近くにある地下駐車場入口。



色とキャラクターでエリア分けをしている。船橋北口駐車場パンフレットより転載。



電光表示や立体風地図で分かりやすい案内を工夫している。



車路の柱には、色彩、キャラクター、ナンバーが表示されている。



四季の花々と動物キャラクターによるサイン表示。地域に因んだキャラクターが選ばれている。



駐車場所を覚えるためにカード配布のサービスがある。

金沢駅西口時計駐車場

事業者名称：ダブルツリーパーキング（株）
所在地：石川県金沢市
オープン：1998年

構造階層：立体・自走式8階
収容台数：計1496台
主な利用者：周辺ビジネス客、駅利用者

JR金沢駅近くにある、パークアンドライドサービスも行っている立体駐車場。ホテルのようなエントランス、日本庭園風の中庭など、ゆとりのある施設設備で上品な印象である。

階層ごとにテーマカラーによる色分けがされている。はっきりとした色彩が白い壁面に映えて、車室内がすっきりと見渡せる。この他、案内表示は青系統、危険表示（侵入禁止）等は赤系統で表示されている。2005年には、駐車場整備推進機構制定の第2回ベストパーキング賞優秀賞を受賞している。



JR金沢駅近くにある立体駐車場。



時計がランドマークになっている。



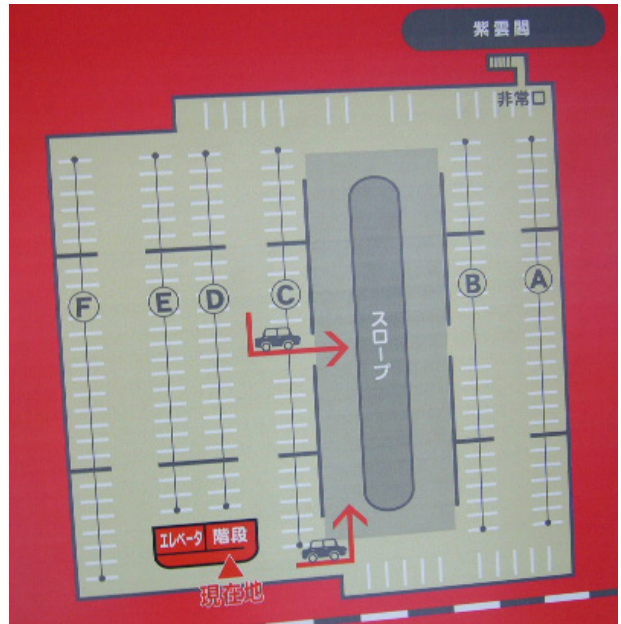
案内表示は、種類によって色分けされている。



御影石を用いた高級感のあるエントランス。



EVホールには大きく階層表示がされている。



はっきりとした色彩を用いた大きめのサイン表示が、車室内でよく目立つ。案内表示にも揃いの色が使われていて、覚えやすい。



白い壁に赤や紫、黄色の色がよく映える。階層表示、色彩、アルファベットによる表示。



階層番号とフロア案内が並列して掲出されている。

長堀通地下駐車場

事業者名称：大阪市道路公社
(H26.4.1 から大阪市)
所在地：大阪府中央区南船場

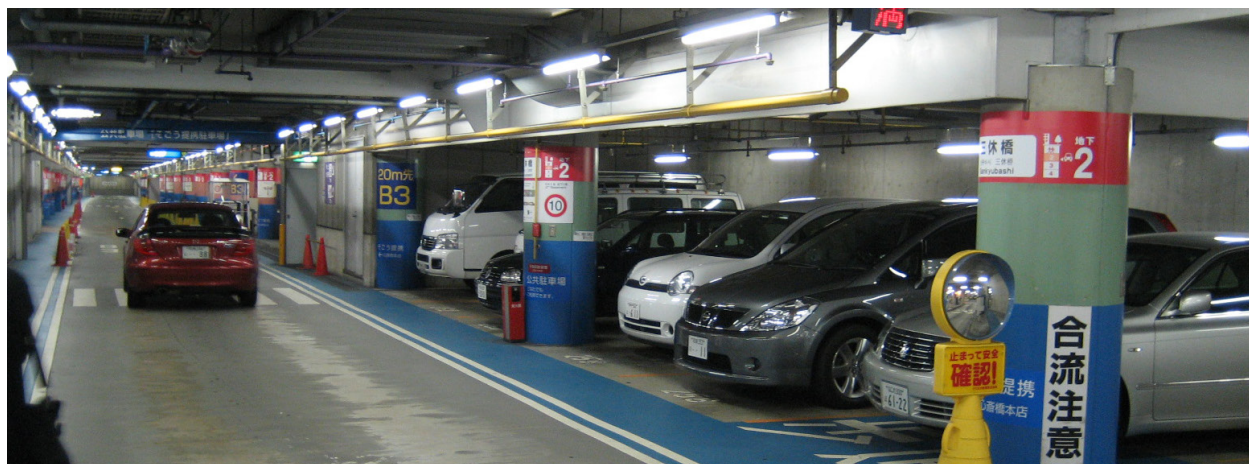
構造階層：地下2～4階自走式
主な利用者：商業施設来客者

商業施設「クリスタ長堀」の地下に設置された駐車場である。東西に細長い駐車場を、各階3エリアずつ、計9エリアに分け、ピンク、グリーン、イエローの3色と、キャラクター9種類で分けている。

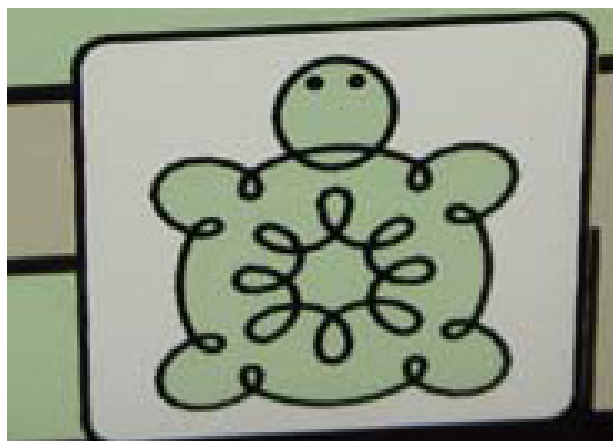
かなり広い地下駐車場であるため、利用者には現在地と方向指示を明確に行えるように意識させている。柱表示に地上の施設案内と、現在地を示すキャラクター、階層表示が併記されている。



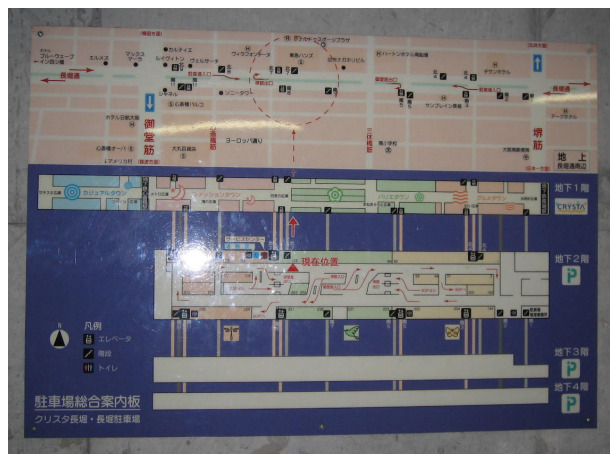
地下駐車場入口



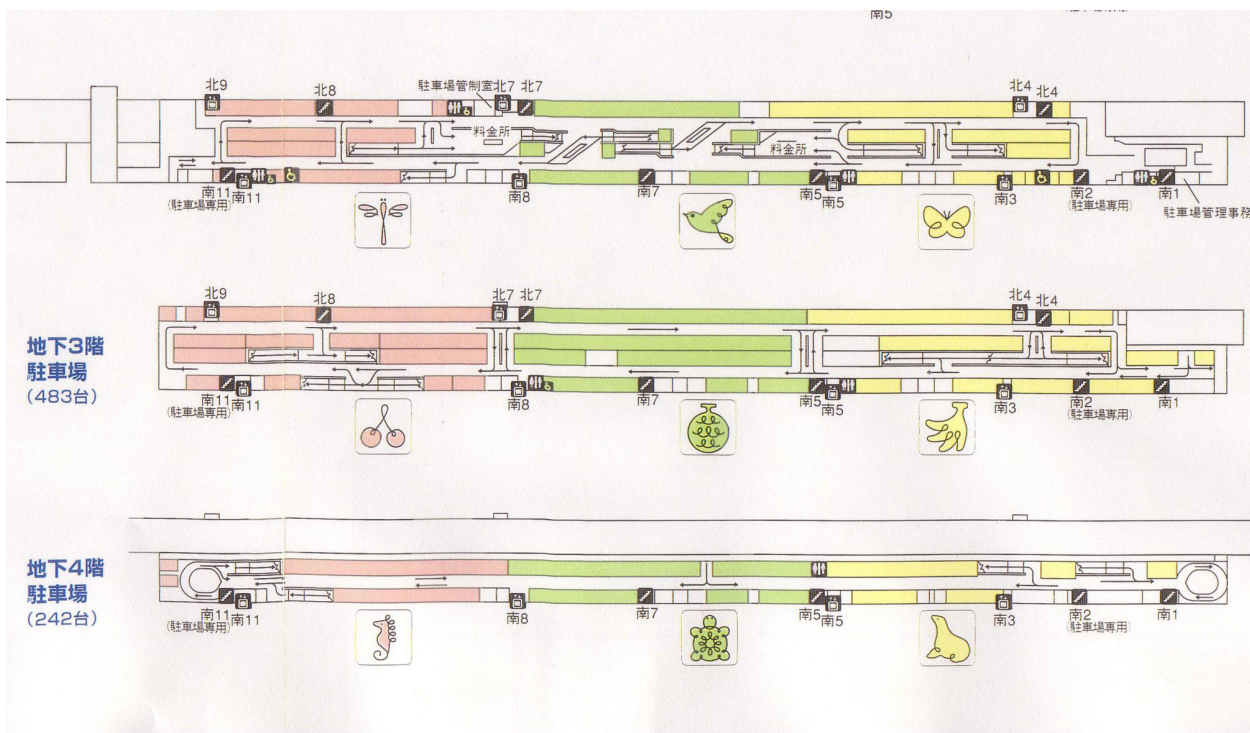
柱の上部にサイン表示が設置されている。



キャラクターによる表示。



周辺案内が各所に掲示されている。



各エリアごとに異なるキャラクターを配置して、サイン表示に利用している。



柱表示には、階層、キャラクター、現在地表示、周辺地域の情報が併記される。



案内図には距離が明記されている。



EV 扉にもキャラクターが表示されている。

高松市立瓦町駅地下駐車場

事業者名称：高松市役所都市整備局まちなか再生課
 所在地：高松市常盤町一丁目
 オープン：1997年

構造階層：自走式地下2層
 収容台数：計448台
 主な利用者：商業施設利用客

近隣の商業施設に来店する際に利用されることが多い地下駐車場である。直上部の地下1階は、レンタサイクルポート等に使用されている。

駐車場内は、色彩とアルファベットおよび数字の表示によってエリア分けされている。

柱の上部を着色することで、どこから見ても利用者が色を認識しやすい。



地下駐車場への案内。



方向案内も柱を利用している。



フロア表示に、エリア別の色分けが明記されている。



はっきりとしたピンク色の柱表示。大きなアルファベットが見やすい



柱の上部にサインが表示されているため、車に遮られずに見やすい。

特色ある駐車場サイン計画実例 ： 海外事例

*サインデザイン、表示方法等については、取材・撮影時のものであり、
現状と異なる場合があります。ご了承ください。

フロントパーク 1

所在地：ベルギー、ブリュッセル

ザンベンテム空港に併設された立体駐車場である。一般利用客用に 2500 台、定期利用が 500 台ある。

階層ごとに、歩行者用通路の色彩およびマークが異なり、位置確認できるようになっている。2001 年に欧州駐車場協会 (EPA) 賞を受賞している。



空港併設の大型立体駐車場である。



施設内の案内ピクトグラムはシンプルなデザインが用いられている。



駐車位置や進行方向を示すラインは鮮やかな黄色で、やや太めに描かれている。暗くなりやすい曇り空でも、はっきり見えて安全である。



駐車場は広く見渡しやすい。梁の中央部に、色彩、階層の数字表示、エリア別のアルファベット表示、マークが表示される。また歩行者通路にも同じ情報が表示されている。



歩行者通路に表示された階層表示（数字）とエリア表示（アルファベット）。



リアルな表現の蝶のマーク。



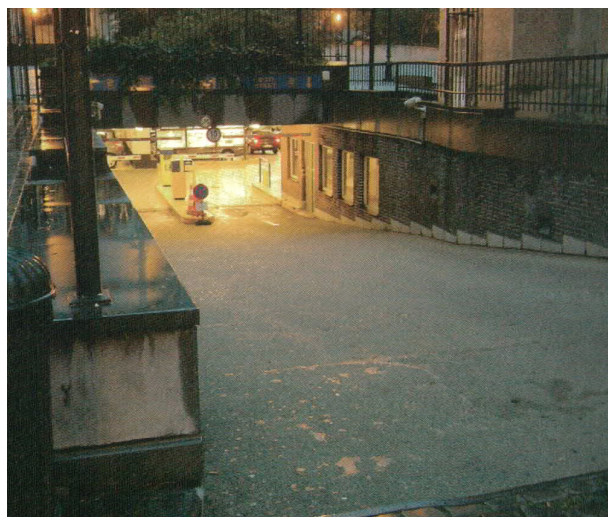
身障者用駐車場は斜め駐車となっている。

インターパーキング中央駅駐車場

所在地：ベルギー、ブリュッセル

中央駅近くの地下駐車場である。8層と深く、開口部が無いいため、駐車場内は暗くなりやすいが、白い壁面にキャラクターを用いたサイン表示が、楽しい雰囲気を出している。

階層ごとに異なる色分けがされ、それぞれにデフォルメされたキャラクターが配置されている。階層表示は「-8」など数字で表記されており、利用者は、階層と色とキャラクターの3点で駐車位置を記憶する。



暖かみのある照明で演出された出入口。



ピクトグラムによる表示。



駐車場出入口の表示。青と黄色の配色。



地下駐車場は暗くなりがちだが、適切な照明と、白い壁によって明るく見える。





フロアごとの色分けの上に、階層表示(数字)とキャラクターによる表示。キャラクターはデフォルメされたデザインである。



地下6階、地下8階の例。それぞれ海をテーマにしたキャラクターが使用されている。



サインは壁面の上部に表示されている。



白く着色した壁に直接、描画されている。

モリノドリーノ P&R 駐車場

所在地：イタリア、ミラノ

ミラノ郊外にあるモリノドリーノ駅に隣接した駐車場である。都市部への自動車流入抑制のために政策的に設置された。このため、鉄道利用者の優遇料金がある。

駐車場は広く、開放的で明るい。壁面を大きく利用したサインは、遠くからも目立ち印象に残りやすい。サインは壁面の上に表示され、視認性も高い。

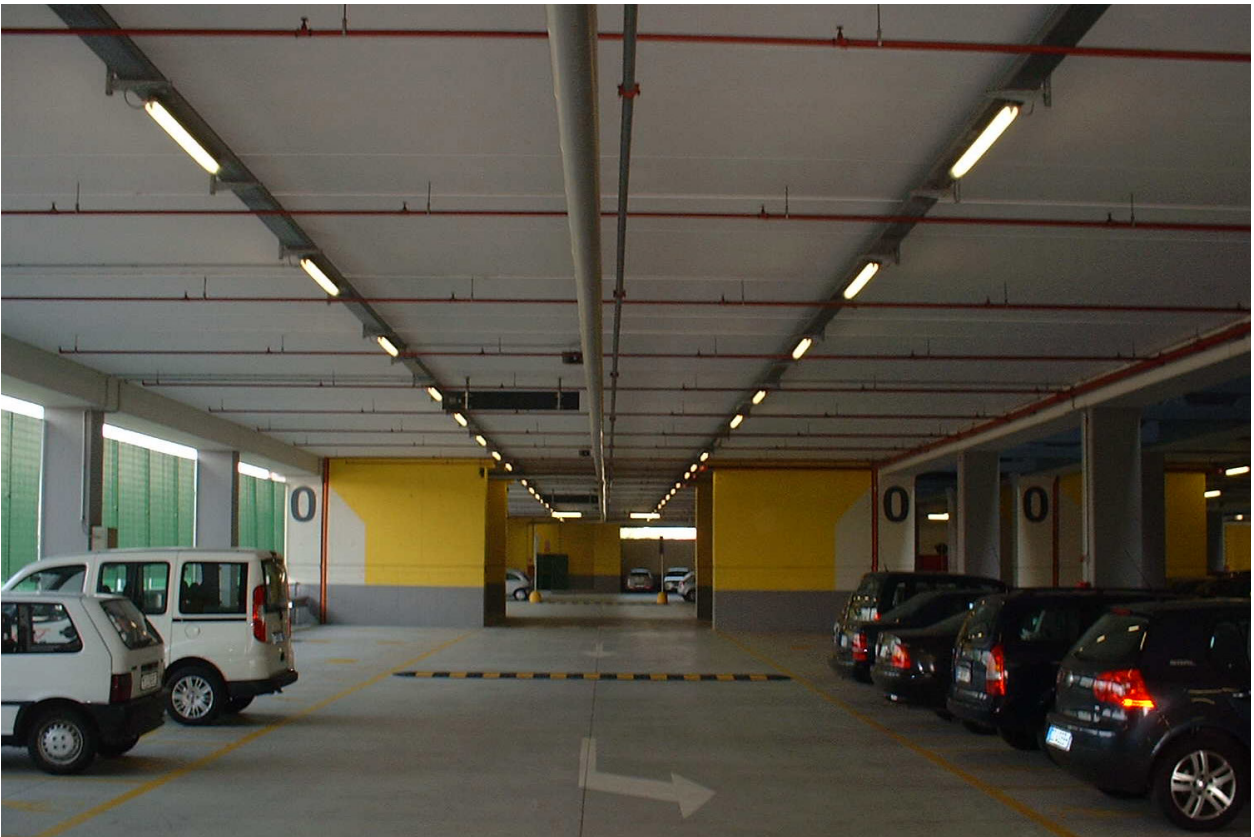
女性用駐車場は、ピンク色のハートをマークに用いている。



造形的なデザインの駐車場である。



すっきりとしたサイン表示で、色彩、数字ともに印象に残りやすい。



壁面を上手く利用したサイン表示の好例である。この1階部分には特に天井が高く、開放感がある。



女性用駐車場の標示にはハートのマークを用いている。



駐車位置を示すラインはやや見えにくい。



壁面標示は遠くからも認識しやすい。

リスボンショッピングセンター

所在地：ポルトガル、リスボン

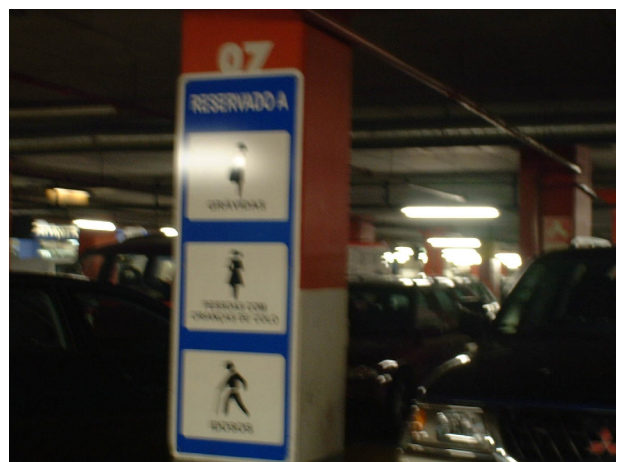
ショッピングセンターに併設された駐車場である。各エリアにピクトグラムが配置されている。海をモチーフにしたピクトグラムは、分かりやすく覚えやすい。またエリアは色分けがされている。ピクトグラムと一緒に、「K Rua」（ポルトガル語で「K通り」）などと表示されており、利用者はピクトグラムと、アルファベットの通り名によって駐車位置を覚えることができる。また「レストラン」等の表示は店舗ガイドにもなっている。家族連れが多いためか、身障者用・優先者用駐車場が広く取られ、目立ちやすく黄色で塗装されている。またショッピングカート置き場も大きめに取られている。



海をモチーフにしたキャラクターが魅力的なサイン。



駐車場入口。注意喚起する黄色を上手く利用している。



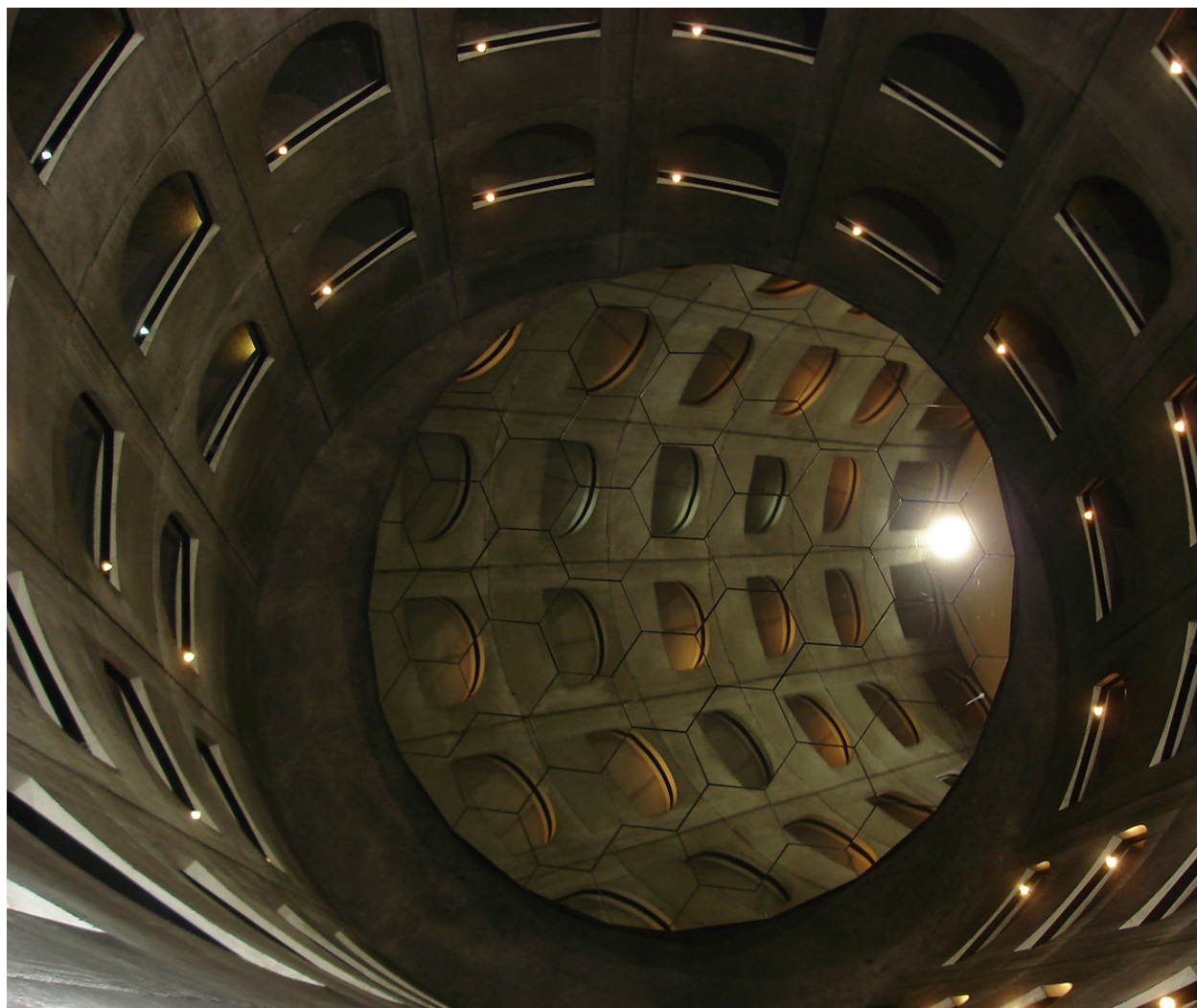
身障者用、優先者用駐車場のサインが目立つように配置されている。



駐車場内に返却できるコイン式のカートが設置されている。

セレスタン円形地下駐車場

所在地：フランス、リヨン都心部



地上部広場のオブジェ（双眼鏡）から覗くと、地下駐車場が万華鏡のように映し出される。



駐車場内にある回転する凸面鏡によって映し出される。中世の教会のような雰囲気である。



車路は連続スロープになっている。



ダークグレーと黄色の2色でカラーコーディネートされた美しい駐車場である。



数字による車室表示。



車室はグレー、車道はオフホワイトで塗装。

リヨンの中心部にある広場の地下に設置された円形駐車場。駐車場建造物自体が芸術作品のような雰囲気である。連続したスロープからなる駐車場で、車室内に「-6633」（地下6階、633番の意味）といった車室番号がそれぞれに振られている。利用者は階層表示と、3桁の車室番号によって、駐車位置を記憶する。駐車場内には周辺地域の案内図がない。ダークグレーと彩度の高い黄色のみを使ったハイセンスな駐車場内装となっている。

パークハウス駐車場

所在地：ドイツ、ミュンスター



ガラスの重なりが美しい外観。一見すると駐車場には見えないスタイリッシュな建造物である。



印象的な外壁の装飾。

駐車場全面が薄緑のガラス板に覆われており、開放感と清潔感、若々しさを感じさせる駐車場である。ガラスを大きく用いることで、大型の立体駐車場であっても、軽やかな印象となる。

駐車場室内も、壁と梁が白く塗られているため、明るく清潔感を感じさせる。壁面を大きく利用したサインが目につく。色彩は、外装のグリーンに合わせた、やや緑がかった彩度の高い黄色がアクセントとなっている。



中庭の吹き抜けがあるため、開放感がある。



エントランスは彩度の高い黄色が目印。



駐車場の内部の天井や梁が白色ですっきりデザインされ、清楚で明るい。



ピクトグラムはすっきりとしたシンプルなものを用いられている。



エトワール P & R 駐車場

所在地：スイス：ジュネーブ



螺旋型階段を上から覗く。黄色と黒のコントラストが美しい。

幹線道路の上部空間を活用した立体駐車場である。都心部の混雑緩和のための P & R 用の駐車場である。

駐車場内は、明るい黄色と赤の 2 色を使った、明るく現代的な雰囲気である。駐車スペースの床も赤く着色されており、躍動感がある。サインはフロア標示のみで、エレベーターホール付近に階層が数字で表記される。利用者は利用階層まで戻ると、駐車位置は記憶を頼りに探す。



エレベーター横の階層表示。



幹線道路上に立地する立体駐車場の全景。



星がシンボルマークとなっている。



黄色と赤の2色をメインカラーとした駐車場の内装。柱と駐車位置が赤く塗装されている。



無塗装の車道にカラフルな柱が映える。



身障者用駐車場が塗装され目立ちやすい。

ライナオハーフェン駐車場ライン川沿い地下 駐車場

所在地：ドイツ、ケルン



地上部分には、大きなゴシック体でエリア表示がされている。デザイン性に優れているサイン。



梁と柱の中央部にカラーリングがされている。

大きな壁面をはっきりとした色彩で塗装したサイン表示が印象的な地下駐車場である。

明るく強い色彩によって、駐車場内が活気に満ちたものになる。

エリアごとに色分けがされており、利用者は、色彩、階層表示（数字）、エリア表示（数字）によって、駐車位置を記憶する。車室にはそれぞれ4桁の番号も振られている。



壁面を大胆に用いたサイン表示。遠目からも目を惹きやすく、印象に残りやすい。



エレベーター入口に階層ごとの色分けが表示されている。階層とエリア表示も併記される。



4桁の車室番号が壁面に表示されている。やや高い位置にあるため運転者からも見えやすい。

共和国広場地下公共駐車場

所在地：チェコ、プラハ



柱に塗装した上に、エリア表示(アルファベット)を行っている。大きめの文字で目に入りやすい。水色と赤い床の組み合わせは、日本ではあまり見られない色彩感覚である。



3桁の車室番号が床面に表示されている。赤く塗装された床面に白い数字が目立つ。

ショッピングセンターの地下にある駐車場。車路と歩行者用通路の床を、色分けして塗装してあるのが珍しい。床は濃い赤を塗装している。柱は、エリア別に色が塗り分けられ、アルファベットによるエリア表示がされている。

それぞれの車室には、白い文字で車室番号が振られている。利用客は、車室番号と、柱表示の両方を見て、位置情報を把握する。地下駐車場であるが、地上との関連や、周辺地域の案内図などは見当たらないことが、日本とは大きく異なる。



駐車場は広く見渡しやすい。両側の柱を広告スペースとして活用している。



車道が赤く塗装され、駐車スペースと区別されている。

コルバナン駅地下駐車場

所在地： スイス、ジュネーブ



エレベーターホールは黄色、避難口のピクトグラムは緑色で表示されている。



大胆なカラーリングが印象的な地下駐車場である。黄色、水色、明るい緑、赤といった補色対比の配色でありながら、一つの色の面積を大きく取り、アクセントカラーを小さく用いることで、躍動感が生まれ、すっきりとした室内空間となっている。ピクトグラムは、やや写実的で装飾的なものが用いられ、遊び心が感じられる。



柱のほぼ全面と扉を、鮮やかな色彩でカラーリングしている。暗い駐車場内でも目立つ。



床面や管制室は赤、扉や柱類は緑色で塗装されている。施設全体は色彩を複数を用いているが、塗装面の面積を大きく取っているため、すっきりと見える。

デファンス駅駐車場

所在地：フランス、パリ



駅に併設された立体駐車場である。壁面表示の力を最大限に活かしたサインが、利用者に強い印象を与える。壁全体を塗装することで、利用者に色彩によるエリア分けを認識させやすくする。白い矢印と文字も太く大きいいため、赤い背景に良く映えて、読みやすい。階層表示（数字）、エリア表示（アルファベット）、色名（アルファベット）が併記されているにも関わらず、シンプルで覚えやすい。これは色彩を効果的に用いた好例である。



駐車場の全景



歩行者通路は色と仕切りで区切られている。



壁面を最大限活用したサイン表示である。階層、エリア、色が一目で記憶できる。

テロー広場地下駐車場

所在地：フランス、リヨン



テロー広場に面する歴史的な建造物の中にある。入口は一見すると駐車場とは分からない。



床面に市街地の地図をモチーフにした石盤レリーフが埋め込まれている。

フランスの都市リヨンにあるテロー広場の地下に設けられた地下駐車場である。広場の雰囲気を変えないように、歴史的な建造物を利用しており、駐車場とは分からない。内部に入っても、白とダークグレーでまとめられ、各所にオブジェやアート作品が配置されている様子は、まるでギャラリーのようである。

落ち着いた雰囲気に合わせて、駐車場内のサイン表示も情報は最小限に押さえられており、階層表示と車室番号に限られている。黒と白のシンプルで強い配色、大きめの矢印など、見えやすさへの配慮が感じられる。



エレベーターホールの床には、オブジェ作品が埋め込まれ、ギャラリーのようである。



車室床面に階層表示（例：-2は地下2階）と3桁の車室番号が振られている。



壁面に大きく階層表示がされている。優雅な書体がクラシックな建物とよく合っている。



連続傾床型の駐車場である。



モノトーンでまとめられたシックな駐車場。

あとがき

本書の刊行にあたり、各駐車場事業者様からの資料提供や助言をはじめとして大妻女子大学准教授 中川麻子先生、筑波学院大学講師 高嶋啓先生による執筆監修等、多大なるご支援、ご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

当財団としては、引き続き、駐車場利用者の皆様の要望を真摯に受け止めつつ、時代に即応した快適な空間づくりをめざして今後も取り組んでいく所存です。

本書が皆様の一助となり、駐車場におけるサインデザイン計画の参考になれば幸甚です。

本書編集責任者

一般財団法人 つくば都市交通センター

つくばクリエイティブラボラトリー (TCL) 副代表
大妻女子大学准教授 中川 麻子

掲載されている記事・写真の無断転載を禁じます。すべての著作権は一般財団法人つくば都市交通センターに帰属します